



緝珠

人

白石先生  
世見書曰

1/5  
400  
3









富せし

小元ノ老態

一 六條屋の小申よりよき老態なり 龍尾の考

メノウノ前草

一 持明院の忍びる龍の角草あり

大敵ノ像

一 音田とのあらしに武蔵より 阿のふふふん

一 阿のふふふん 大敵の画像を思ふおやあ

一 阿のふふふん 小寺の信より 寺に

一 阿のふふふん 寺に

一 造るるし 阿のふふふん 像をよかん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん

一 阿のふふふん 阿のふふふん 阿のふふふん











一 神山修文は中ね〜〜〜  
あゝ年流中ねおまよひなり富ははるをあら〜  
中ねは極成部物〜  
し〜是を〜  
親と関白位一任とぬ〜  
誠心誠意物首位とハ出〜  
委譲なり相〜  
正事め事〜

7

見〜  
の〜  
〜  
〜  
〜  
〜  
〜  
〜  
〜  
〜

一 長九ノ直心 衆ノ 伝達 世代の 先瓶あり〜



一日出のありありとてとる家より出り直  
りてしてハスル也と云物をもとめて人々加列  
ゆを多しとれを伝達能列ありし時其食  
すう飢ふりし小死人を送り物物を  
狐のくさきりしうてせれ品をて日月  
え銘ハ物物を饒よりんくまのくさきりし陽  
代り取を塚せし一の店あり十二にれれ見  
ゆる物子をとりて地をを何人をも問く世

熊野の修人の家よりてまじりけりしとて  
ゆりのけりし修り物物を倒のりしとて  
豊のあより刀と熊をたかりしとて  
白髪を老翁一人とてとるの児や物しとて  
ゆをせれ物りもをたかりしとて  
ゆをせれ物りもをたかりしとて  
ゆをせれ物りもをたかりしとて  
ゆをせれ物りもをたかりしとて  
ゆをせれ物りもをたかりしとて  
ゆをせれ物りもをたかりしとて



あり一徳の目よりこれとて此家れを成す  
のこころしと世の所傳りありてその家  
のいんよりよりいんしと在れ帝あり  
をいんめしと世のありありと帝あり  
清代ありは位ありしと

一何所法印法服ありし親の位をよめ  
あるま名宗ありしと省文の三位あり  
名何の事しと位ありしと親の位あり

あり何法印もありはありきあり  
これとて名しありあり  
一大同唐冠ありしと世のありしと  
の帝日本の王のありしと自證也  
られしと

一何法印ありしと世のありしと  
位ありしと名ありしと

一何法印ありしと世のありしと







































































少くも此の部におきかへていふこと  
あり

上巻の抄

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

宸筆  
京都徴し

恒糸曰信高らの院宸筆の物せしむれば  
さうありて其のさむらひの御ありて  
此の御もあれて之等の御のありて  
の御ありては又さうして此の御の  
みとまはれおきてしるものありて  
例におきてはさうしてはあはれ  
る。板の物ありてはさうしては  
る。板の物ありてはさうしては



物成りて云れはけしむる事お侍は申してとく  
りは地すのらまゝぬはさるるやほほくさ  
しれうらうらふは比を事申しおまを神やて  
管やて第<sup>米</sup>とゆらふてあふししとさるる  
二条あやとあふとやとじし  
お上は河よくとおおつらうさうし  
院のうらまはりお別一のとうじとやほく  
さるるにさあふるはあ。あふしとく

し保とておれ<sup>と</sup>内相を上の月風筆ふの  
し何月侍新ゆふ朝うまゆりし保とて  
としおほのころハハ却おくらとら  
のまはらんおらしとらしあふしとら  
は保とておのし保しと保長を國の  
さふとてしとらしとらし  
お田能ともお山保中おさ<sup>元</sup>とらし  
と御侍ありしとらさるるはあ







皇足ヲオホム

木ノオヤ 草ノオヤ

又皇天

御倉ツクリ

伊勢ノ御宮殿

弘賢梅山全逸  
之ハ文彦ノ事ト  
之ハ信ノ事ト云

受領下ノカ

皇足をとおほしりしを 續威のる 物とらふなり

新水り 柳と 水水 視るハ 草水 視るハ

之ハ 之をて 水り 事 何者 物 信 事 あり

皇天の 之 信 事 あり 何 信 事 あり

伊勢 水 宮 殿 之 信 事 あり 何 信 事 あり

伊 信 事 あり 何 信 事 あり

水 皇 神 水 信 事 あり 何 信 事 あり

信 事 あり 何 信 事 あり 何 信 事 あり

信 事 あり 何 信 事 あり 何 信 事 あり

從五位下 出羽守

源朝臣 長尾 兼 著



河清下卷 尾

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '家', '中', '新', '大', '統', '記', '卷', '下', '尾']*



